

## 平成30年度 身近な教育委員会・保護者懇談会

教育委員会室から外に出て、区民や保護者がより身近に感じられる学校等で開催する「身近な教育委員会」及び、「保護者懇談会」を下記のとおり実施いたしました。

### 記

日時：平成30年11月30日（金）10時45分～12時30分

場所：西台中学校体育館

概要：第1部 身近な教育委員会

「学力調査の結果から見える子どもの姿」

第2部 保護者懇談会

「学力向上のために、学校・教育委員会に期待すること」

「学力向上のために、家庭・地域でできること」

※懇談・発表の要旨は、次ページ以降のとおりです。

参加者：63名

（内訳）保護者等 43名

教育長・教育委員 4名

中川修一教育長 高野佐紀子教育長職務代理者

青木義男委員 松澤智昭委員

学びのエリア校長・副校長 4名

西台中学校 長濱裕也校長 中井広志副校長

高島第六小学校 阿部誠一校長

教育委員会事務局関係者 12名

# 平成30年度 保護者懇談会 グループ懇談・発表要旨

## ◎ 各班の発表内容

※時間が限られているため、7つの班のうち、3つの班に発表していただきました。

### 【B班】

- どうしたら学校に保護者や地域の皆さんが集まれるのか、どうしたら自由にお互いの意見を話し合えるような雰囲気や場を作れるのか、そうした部分を考えることが大事だと思う。
- ボランティアについて、校長先生が積極的で町会でも活動させていただいているが、学校側から常に受け入れてくれるような姿勢・体制ができてくると、地域も保護者も職員も、子どもたちについて話しやすい場ができてくるのではないかなと思う。
- 学力向上というテーマであったが、予備校ではビデオ授業というものがあって、先生方はその授業を補えば良いという考え方もあるが、学校からはそうしたやり方にはしていきたくないという姿勢も見えたので、保護者としても地域としても、今後も協力していけるのではないかなと思う。

### 【D班】

- 学校の行事など、これまでやっていたものが、校長先生が変わると急に全てが変わってしまうことがあるので、保護者としては学校からの説明を早めに、もっと頻繁に行ってほしいと思う。
- 学校関係者だからこそ、挨拶はしっかりとしてほしいと思うが、先生たちが本当に忙しくしている事情も分かるので、保護者側の理解も必要ではないかなと思う。
- コミュニティ・スクールなどについて、PTAの役員などであれば内容を知っているのかもしれないが、それ以外の保護者にも、手紙でのお知らせだけでなく、丁寧な説明が必要だと思う。

### 【G班】

- 学校の授業が以前とは変わってきているというお話で、最近ではワークショップ形式での授業が行われているが、過去に受けてきた授業と全く違うので、保護者もなかなかついていけないように思う。
- ワークショップ形式で授業を行う中で、それが得意な子ども、不得意な子どもがどうしてもいるので、不得意な子どもはそうした形式によって、なかなか評価されないのではないかなと思う。
- ワークショップ形式のような対面の場ではなく、インターネットなどでつながっている中であれば、意見が言えるなど、違った場所では活躍できるということもあると思うので、そうした子どもの特性を拾ってあげてほしいと思う。
- 一方で、実際の先生方も授業が以前とは変わってきている中で、そうした授業が得意な先生、不得意な先生もいると思うので、子どもからの意見を聞いてみても良いのではないかなと思う。
- また、ICT機器を活用した授業が増えていく中で、子どもが授業の内容をノートに書き写すような時間がなく、ただ授業の時間が流れていくだけになるかもしれないというのが課題の一つだと思う。

## ◎ 教育長の講評（要旨）

### 【はじめに】

- 本当にお忙しい中お集まりいただき、熱心にご議論いただきましたこと、感謝申し上げます。

### 【板橋区コミュニティ・スクールについて】

- 発表の際に、校長先生が変わると行事なども変わってしまうという意見をいただきました。
- 学校は、変えられるものだということが素晴らしいと思う反面、地域が大事にしているものについては、続けていくことがやはり大事で、コミュニティ・スクールにはそのような継続性を担保する役割も期待するところです。

### 【施策の周知について】

- 教育委員会や学校が何をしたいのか、実際に何をしているのかについては、皆様に伝えているつもりなのですが、なかなか伝わっていないという課題があります。
- 常日頃から、「伝える」と「伝わる」の差を認識し、課題として受け止めているところです。

### 【板橋区授業スタンダードについて】

- 板橋区にはこのところ毎年120人近い、初めて正規の先生になる方々以外に、他地区から転入してくる先生方がいます。
- 新しい先生には、ぜひ力を付けてほしいですし、経験した先生には更に授業力を高めてほしいということから「板橋区授業スタンダード」というフォーマットを作りました。
- どの先生でもきちんとエビデンス、「これをすれば学力が上がる」というものに基づき授業を行う、例えば、授業のめあてを提示したり、子どもたちにじっくり考えさせる時間をつくったり、授業の最後に振り返りを行ったりしている学校の学力が高いという学力調査の結果が出ています。
- このようなことを板橋区でもやろうということで、「板橋区授業スタンダード」という形で3年前から始めており、徹底していこうというところです。
- まだ徹底しきれていないという状況を感じながらも、継続して進めていきたいと思っています。

### 【三間（さんま）について】

- 学力を高めていったり、何かを成し遂げるときに、「三間（さんま）」という表現をします。
- 学びの空「間」、学びの時「間」、学びの仲「間」、この空間と時間と仲間という3つの間（ま）は、学校でも家庭でも地域でも同じことで、つまり学ぶに値するような環境づくりができるかどうか重要だと思っています。

### 【おわりに】

- 色々とお話させていただきましたが、皆様からのご意見をお伺いし、教育委員会も、学校現場も、私は「教育の板橋」と呼ばせていただいておりますが、その実現に向けて子どもたち一人一人が明るく、元気に、前向きに学校生活を送れるような環境づくりに努めたいと思っております。
- ぜひ皆様と一緒に学校を創っていきたいと思いますので、引き続き、ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。